

学校だより

令和5年3月8日 No.16



いずみだい

北九州市立泉台小学校 校長 平川 信乃

学校教育目標

「心豊かに たくましく生きぬく 実践力のある子どもの育成」
～ 自分の未来を 自分で切り拓く力を育む ～

子どもと目指す 泉台の「あ・い・う・え・お」

「あ」 あいさつをしよう 「え」 笑顔でチャレンジ！自分をみがこう
「い」 いのちを大切にしよう 「お」 お話をしっかりと聞こう
「う」 美しい学校にしよう

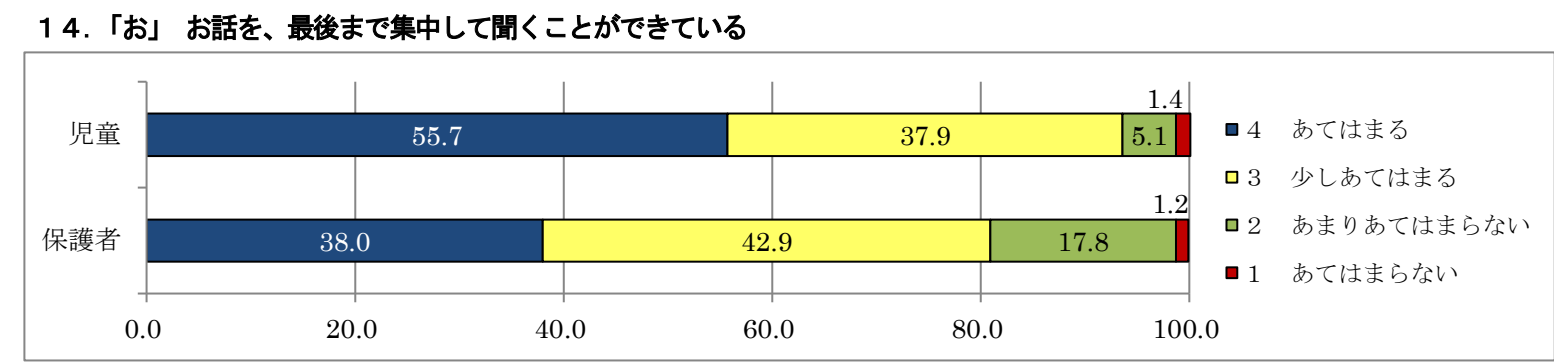
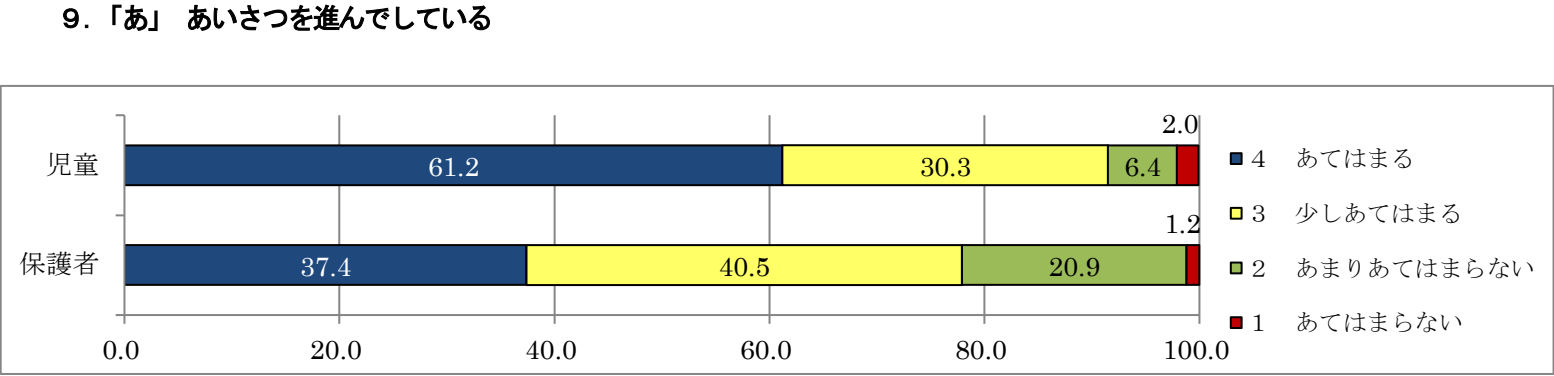
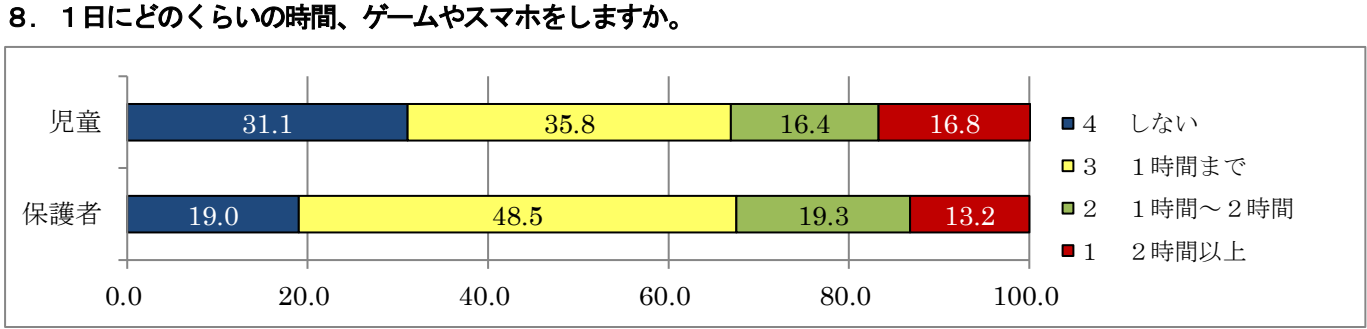
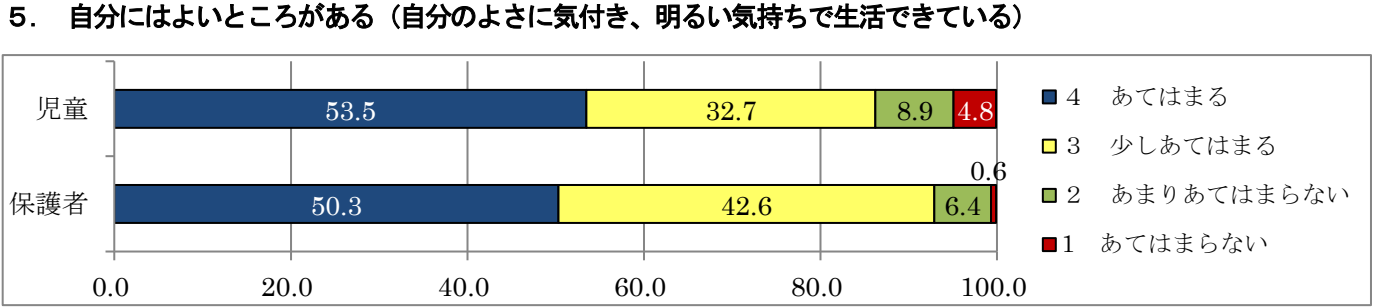
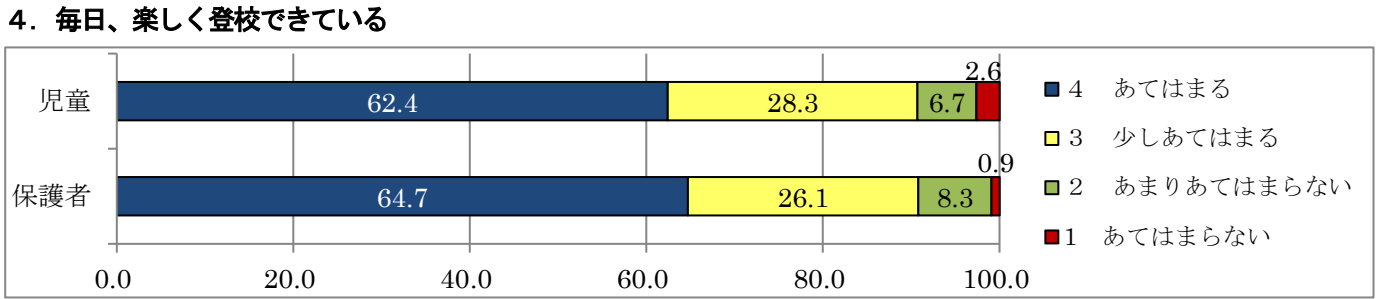
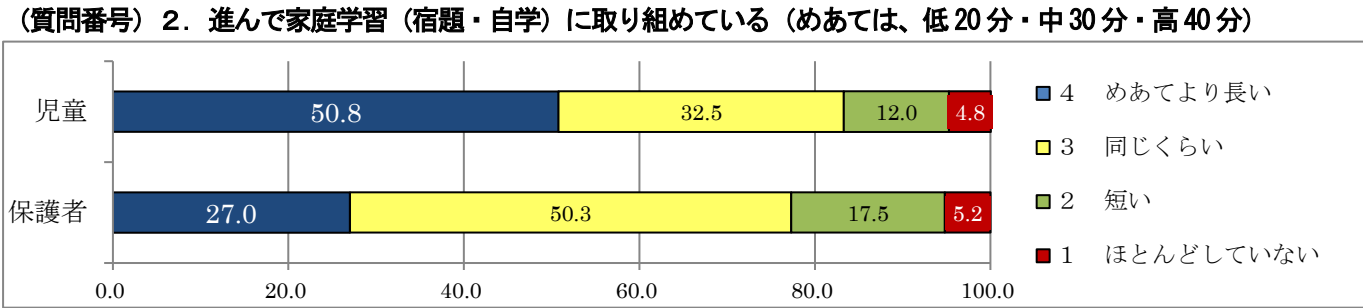
暖かな日差しの中、梅やスイセンの小さな花が、春の訪れを知らせてくれます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。さて、先日は、WEB上での学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その一部を抜粋しながら、結果をお知らせいたします。

本校では、保護者の皆様の声や子どもたちの振り返りを生かしながら、教育活動を行って参ります。今後とも、「学校」「保護者」「地域」がチームとなって、子どもたちを育てていけますよう、温かいご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

アンケート結果の見方について

子どもと保護者を対象に実施したアンケートは、共通の項目となっています。そこで、対比できるものについて、比較しながら結果を示しています。問いは、子どもには「自分自身ができているか」、保護者には「お子さんができていると思うか」をお尋ねしたものです。

大まかに、4・3が高い評価（成果）、2・1は十分でない部分（本校の課題）になるという見方もできます。



アンケートの分析

2. 家庭学習

約83.3%の児童は、学年で目標とする時間の家庭学習に取り組んでいます。一方、「ほとんどしていない」と答えた児童が4.8%（20人）います。市の平均と比べ、家庭学習の時間がかなり短く、本校の課題となっています。宿題は、その日の学習を定着させ、学習習慣の基盤をつくる大切なものです。毎日、目標の時間を意識しながら課題や自主学習を進めるよう、ぜひ声かけをお願いします。中には、「宿題を広げる台がない」「弟や妹がプリントを破ってしまう」など、困っている子もいるようです。帰宅から寝る時間までTVが付いている…などの状況はないでしょうか。お子さんへの見取りや励ましとともに、「集中して宿題に取り組める時間やスペースの工夫」をお願いします。

4. 学校に来るときの気持ち

90%を超える児童は楽しく登校できており、ほっとしました。「コロナ禍」の収束傾向や行事の復活などの影響もあり、児童・保護者ともに、昨年より肯定的な答えが増えています。けれども、10%近い児童が、少し苦しい気持ちを抱えているようです。「学習」「友達関係」「家族と離れたくない」など、理由は多岐に渡ります。中には、腹痛やだるさなど心身の不調を訴え、個別の対応を進めている子もいます。一人一人が「学校は楽しい」と思えることは、学校づくりの根幹です。「2・1」と答えた児童にしっかりと向き合い、要因を解きほぐしながら支援を進めています。ご家庭でも、生活リズムを整え、楽しい気持ち・明るい気持ちで送り出していただけたら幸いです。

5. 自己肯定感

問いかけに2・1と答えた児童が13.7%見られ、心配です。楽しそうに見える子どもたちも、心の中で「不安」や「自信のなさ」を感じているのかもしれませんが。学校では、一人一人の居場所となる温かい学級づくりを基盤に、成功体験を重ね、自信や自己肯定感を育んでいきます。来年度は、篠崎中学校区全体で、「自尊感情」を育むことを重点に、連携して取り組みを進める予定です。ご家庭でも、「できたこと」「伸びたこと」「頑張ったこと」をたくさん見付けて、一人一人のチャレンジを応援してあげてください。

8. スマホやゲーム

スマホやゲームの時間が2時間を越える児童は16.8%で、昨年よりわずかに減っています。けれども、学年が上がるほど、その割合が増え、2の設問で「宿題をほとんどしない」と答えた児童と重なる傾向が気になります。子どもたちから「ずっと動画を見ていた」などの声を聞くことが増え、体調も心配です。スマホやゲームは楽しいものですが、使い方やルールについてご家庭で約束や工夫をお願いします。

9. 「あ」 → あいさつ

学校で、児童は、しっかりとあいさつができています。けれども、保護者の回答と比べると、「家庭や地域では、まだ、あまりできていないのかな」と感じてしまいます。学校外では照れもあるのですが、地域や家庭でも挨拶が飛び交う泉台小学校区になると嬉しいです。

14. 「お」 → 集中力や話の聞き方

9と同じく、児童の方が高評価の傾向です。学校では緊張感もあり、しっかり話を聴けているのでしょう。ご家庭でも、話す際には目を合わせて伝え合うことを意識してみてください。習慣になるまで「3か月かかる」と言われますが、継続は、きっと成果につながります。

※ 「保護者アンケート」最後の自由記述欄（任意）では、職員への心温まる「応援メッセージ」をたくさんいただきました。「コロナ禍」という手探りの状況の中、がんばる勇気とエネルギーを頂きました。本当にありがとうございました。

要望やお尋ねもいただいています。裏面に主な内容をまとめさせていただきました。要望や提案はしっかりと受け止め、今後の取組や行事に生かしていきます。